

倫理委員会審議内容

令和2年9月30日開催

No.1	申請者：看護師 山田 克樹
課 題	精神科急性期病棟で勤務する看護師が抱える児童思春期看護への思い
研究の概要	<p>当病棟は精神科急性期病棟であり、アルコール依存症や統合失調症、気分障害、また児童・思春期の患者を受け入れている。そのため、児童・思春期の患者は空間的には他疾患とは区切られた北ユニットでの受け入れとなるが、看護師は必ずしも専従ではなく他疾患の患者と同時に受け持つことがある。また看護師による集団プログラムや日課活動が設けられておらず、個別の関わりが中心となり看護計画はあるものの、声掛けの仕方や距離感などの関りについて統一が図られていない現状がある。そのため、看護師の看護援助に対する葛藤や成長発達に及ぼす影響への不安が強く聞かれた。</p> <p>そこで、児童・思春期患者へのケアのあり方を検討すべく、看護師が患児との関わりの中で感じた喜びや達成感、困難感、患児に対する看護への展望を明らかにすることを目的に本研究に取り組むこととした。</p>
判定	承認
利益相反審査判定	承認

倫理委員会審議内容

令和2年9月30日開催

No.1	申請者：看護師 野國 彩世
課 題	共通視点での暴力リスクアセスメントへの取り組み～入院時アセスメントツールを作成して～
研究の概要	<p>東 I 病棟はH31.4よりスーパー救急病棟として運用を開始し、日々地域からの入院要請や、総合病院などから患者を多く受け入れている。また、当院は沖縄県北部地区の休日夜間救急受入れ病院としての役割も担っており、昼夜を問わず患者を受入れている。夜間の緊急入院を要する患者は、自分の意思での入院とは異なり、強制的な入院治療となる事が多い。</p> <p>今回、入院時に情報の少ない患者の暴力リスクアセスメントを、当病棟に合った暴力リスクアセスメントツールを作成し、ショートカンファレンスを導入することで、病棟看護師が同じ視点で暴力リスクアセスメントを実施、効果的な情報共有ができると考えている。</p>
判 定	承認
利益相反審査判定	承認

倫理委員会審議内容

令和2年9月30日開催

No.1	申請者：看護師 宮城 咲
課 題	クロザピン治療病棟における感染予防意義と意識調査
研究の概要	<p>クロザピン服用中の患者は好中球減少症・無顆粒球症が発生した場合主治医と他院の血液内科の医師が連携を取りながら、無顆粒球症になった場合でも、当院での治療を続けている。しかし、現在までにそのような意識調査を行ったことがなく、精神科病院の感染予防に関する先行研究は多くあるが、クロザピンに特化した感染予防に関する研究は見当たらなかった。そのため、本研究を通してクロザピンに携わる看護師の意識や行動の違いを調査し、クロザピン治療病棟の看護師が易感染状態の患者へ対し、一定の水準で感染予防対策を行えるよう示唆を得ることを目的とした。</p>
判 定	承認
利益相反審査判定	承認

倫理委員会審議内容

令和2年9月30日開催

No.1	申請者：看護師 眞喜志 見夏
課 題	内服やスタッフの介入でBPSD症状が軽減しない認知症高齢者ケアの向上ー三時(ーさんじ)茶(ちゃー)なじみの暮らしを取り入れてー
研究の概要	本研究は、認知症患者への看護実践をするうえで、三時茶の提供することで認知症病棟看護にどのように作用しているかを明文化し、看護ケアの質の向上に寄与することを目的とする。
判 定	承認
利益相反審査判定	承認

倫理委員会審議内容

令和2年9月30日開催

No.1	申請者：看護師 徳門 将士
課 題	A氏の行動制限緩和に応じて出現する問題行動への効果的な看護実践を明らかにする
研究の概要	<p>身体拘束解除を目指して前年度の研究では、自傷行為に至る原因を多職種チームでアセスメントし、4期に分け看護実践と患者の変化の過程を多職種チームで検証した。今回の研究では、前回多職種チームで検討し、プランを決定しプライマリーナースが看護計画を立案し、他ナースに説明し看護を展開していく時に、看護師の個々の計画に対する理解・捉え方の違いから、統一した看護実践が行われずに患者がパニックを起こしてしまうことがあった。</p> <p>今後、行動拡大を進めて行くためには、行動制限緩和に伴い出現してくると思われる問題行動に対して、どのような看護実践の在り方が効果的であるのかを明らかにする。</p>
判定	承認
利益相反審査判定	承認

倫理委員会審議内容

令和2年9月30日開催

No.1	申請者：看護師 佐次田 景
課 題	重症心身障害児者病棟の看護と介護におけるやりがいの調査
研究の概要	今後起こりえる問題を未然に防ぐ手立ての一つとするために、スタッフの持つ重心看護のやりがいを明確にすること、またやりがいの維持向上に必要な要因を明らかにすることで、病棟スタッフの気付きや新人・異動者教育に活かしていき、今後のスタッフの活力やモチベーションの向上の一助とすることを目的に研究を実施する。
判 定	承認
利益相反審査判定	承認

倫理委員会審議内容

令和2年9月30日開催

No.1	申請者：看護師 宮城 大河
課 題	重大な他害行為をした患者を看護することへの葛藤とその対処について－医療観察法病棟での看護をとおして－
研究の概要	本研究では、医療観察法病棟に入院中の患者に対する看護への葛藤と葛藤への対処を明らかにすることを目的としている。また、医療観察法病棟に入院中の患者に対する看護への示唆を得ることを目的とする。
判 定	承認
利益相反審査判定	承認